



泌尿器科外来常設

— 診療の拡大へ —



セタコンサートで仮装して歌う保育所の子供たち(7月7日外来ホールにて)

近年、高齢化社会に伴い下部尿路疾患が増加し、一方で糖尿病に合併した腎不全も増加の一途をたどるなど、腎尿路系疾患の診療はますます重要になってきている。このたび君津中央病院で泌尿器科部長をされていた水島薫医師が6月から当院に着任され、泌尿器科外来が常設される運びとなった。泌尿器科は腎臓、膀胱、前立腺、頻尿、尿失禁、男性生殖器などの疾患の治療を行う専門科で、従来も週2日間の外来診療を行ってきたものの、地域のニーズを満たすには外来日数が足りないのが現状であった。当院が従来から専門としてきた腎臓病、人工透析および腎不全治療に加え、さらに泌尿器科が常設されたことで、より一層充実した腎臓病の総合医療の提供が可能となった。

外来の現状と今後について



副看護部長 岡崎弘子

玄々堂君津病院 副看護部長 岡崎弘子

私は2月から、副看護部長と外来部長を兼任し、病院の診療の玄関である外来に勤務しています。今回は外来の現状と今後について少しご紹介したいと思います。

当院の外来は、急性期型一般病院の外来として24時間の救急医療の他、一般外来、専門外来、医師予約外来に分かれ患者さまの診療を行っています。

現在も外来ではいろいろな症状や病状に合わせて検査や診断、治療が行われ、さらに専門医による診断や治療の必要がある場合は、各専門外来への紹介をしています。現在12科の専門外来があり、経験豊富な医師が診療にあたっています。今年4月からは水島薫泌尿器科部長も着任して、さらに専門外来が拡大しています。また、糖尿病の外来では専任看護師を配置し、萩野副院長を中心に医療チームで患者さまの治療をサポートできる体制をとっています。内視鏡部門や放射線科での検査や治療も積極的に進められています。今後は9月からのMRIの設置などさらに体制を整え機能を高めていく予定が立てられています。

現在も外来化学療法は行われていますが、医療、看護を取り巻く社会の変化に伴い、今後は従来の外来診療のみではなく、「治療処置を行う外来」として、小手術や継続的な特殊治療薬の投与など患者さまのQOLを考慮し、機能を高めていく事が課題となっています。

また、現在、国の方針で脳卒中や糖尿病など生活習慣病予防への取り組みが進められています。当院の外来にも、すでに治療のために通院されている方や検診を受けるために多

最新型MRI導入決定

放射線科の新たなモダリティとして、MRI装置の導入が決定しました。MRIとは、Magnetic Resonance Imagingの略で、磁気共鳴画像という意味である。磁気と電波を利用して多方面からの撮影が可能となり、CTと比較して、MRI装置の導入が決定しました。MRIとは、Magnetic Resonance Imagingの略で、磁気共鳴画像という意味である。磁気と電波を利用して多方面からの撮影が可能となり、CTと比較して、MRI装置の導入が決定しました。

撮影が可能となり、CTと比較して組織コントラストが強いのがメリットである。放射線を使用しないので、放射線被ばく心配がなく、造影剤を使用せずに血管像を描出することもでき、早期の脳梗塞や椎間板ヘルニアなどの診断が可能となった。機種は静けさと高画質を実現した新世代MRI装置「東芝 EXCELART Vantage」で、9月上旬の導入を予定している。

6月16日、君津市立中央図書館2階視聴覚室にて福寿草の会主催の講演会が開催され、146名が参加された。「がん治療の最前線からPARRT II」と題し、大腸がんの特微および治療、腹腔鏡下手術をはじめ手術の工夫についてわかりやすく永島院長が講演された。視聴覚室は満席となり、参加者は熱心に講演を聞き入っていた。続いて大神看護部長が患者さまから頂いた質問内容を一つ一つ永島院長に尋ね、ディスカッション形式で進行し、活発な意見交換がなされた。

NSTとは、栄養サポートチームの略である。医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、事務職員らで構成され、栄養管理を目的として活動するチームのことをいう。5月15日、第1回NSTミーティングが行われた。NSTは、当院では栄養管理委員会の活動の環として位置づけ、今後、入院患者さまの栄養管理を中心に様々な活動を展開していく。

開催にあたり、萩野副院長、大神看護部長、杉村薬局長、城之内栄養科長より激励の言葉が述べられた。

メンバーは萩野副院長(チエマ)、西井栄養科主任(ディレクター)、森看護師長(アシスタントディレクター)、板倉君津訪問看護ステーション所長、鳥飼看護師主任、阿部看護師主任、中尾看護師主任、石井真紀看護師、内川看護師、大口医事

永年勤続表彰者 (50音順)

(20年)
河原京美さん 関根明さん
曾我百合香さん 鳥飼紀子さん
古江洋子さん

(10年)
相沢由美子さん 青江静子さん
石嵯照彦さん 伊藤悦子さん
内田茂男さん 小林みゆきさん
斉藤晃さん 茂田昌行さん
砂川亮平さん 立石好行さん
田村裕美子さん 西山茂さん
早坂正義さん 山口とし子さん
山口昌子さん 芳村智子さん

『第56回日本医学検査学会』発表

5月17・19日、宮崎国際会議場で第56回日本医学検査学会が開催された。当院臨床検査科の淵上孝一臨床検査技師が「地域サーベイにおける参加施設との関わり方、溶血検体における施設の対応と試薬の反応性」を発表した。

救急看護基礎研修実施

6月23日坂田クリニック研修室において、新入職員13名を対象に救急看護基礎研修が実施された。救急蘇生時の看護師の役割や看護について講義を受け、心電図の取り方や心臓マッサージ、除細動器、人工呼吸器など実技研修を取り入れた内容を新入職員は真剣に学ぶ機会を得た。



麻疹の検査再開!

【今年の若年者の流行】かつては、小児のうちに麻疹に感染し、自然に免疫を獲得していた。しかし、麻疹ワクチンの接種率の上昇で自然に感染する人は少なくなってきた。10代から20代の人達の中には今まで一度も麻疹の予防接種を受けていない人がいるうえ、1回の予防接種のみでは十分な免疫が獲得できるとは限らないため、そのような人達の間で麻疹の流行が起きたものと考えられている。

【麻疹の検査】検査依頼が殺到したため、全国的に試薬が不足し、5月末から6月中旬頃に麻疹の検査ができないという状況が発生したが、今では試薬の供給も安定し当院でも検査を再開している。

【予防接種】1回の予防接種のみでは十分な免疫が獲得できるとは限らないが、「麻疹にかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことのない人」は重症になりやすいため、麻疹の予防にはワクチンの接種が有効である。当院ではワクチンの取り寄せを行っていないので、小児科での接種をお願いしている。

『第79回糖尿病教室』開催

5月9日、坂田クリニック研修室にて、第79回糖尿病教室が行われた。鳥飼看護師主任は「糖尿病ってどんな病気」と題し、食事と血糖との関係を曲線図でわかりやすく説明した。池座管理栄養士は、「塩のうまい話」と題し、実際の料理に含まれる塩分について具体的に説明した。小林理学療法士は、「糖尿病の運動療法」と題し、血糖が筋肉に取り込まれる仕組みについて説明した。参加者は20名で、熱心に聞き入っていた。

新任医師 3 名にインタビューしました!



鈴木理之医師



古賀祐季子医師



永蔭薫医師

この春より、着任された、永蔭 薫医師・古賀医師・鈴木医師に質問をさせて頂きました。

①玄々堂に着任されて、数週間が過ぎましたが、当院の雰囲気はいかがですか?

永蔭薫医師…職員の方々が明るく、またよく働くのに驚きました。
古賀医師…皆さんと交わす挨拶が、とてもさわやかです。
鈴木医師…心優しいスタッフに支えられて楽しく働かせて頂いております。

②医師としてのモットーは何ですか?

永蔭薫医師…誠実
古賀医師…初心忘れるべからず
鈴木医師…技術も大事ですが、心のケアも大事であると考えています。

③趣味や、マイブームがあれば、教えてください。

永蔭薫医師…つり・テニス・将棋 いずれも下手です。2年くらいやっていません。
古賀医師…趣味はテニス。マイブームは各地のおもしろい&きれいな柄のマンホールを見つけることです。木更津のタヌキくん、かわいいですよ。
鈴木医師…ビリーズブートキャンプ(続いていませんが…)

④最後に、何でも結構です 一言お願いします。

永蔭薫医師…地元のために、また病院のために、精一杯がんばります。
古賀医師…皆さんとのコミュニケーションを大切に歩んでいきたいと思っています。宜しくお祈り致します素敵なマンホールの柄を見つけた方は、御一報を!
鈴木医師…政府の医療失政により地域医療が破綻する中、地域の中核病院の一員として皆様の付託に答えられるよう全力を尽くしたいと思っております。至らぬところもあろうかと思いますが、よろしくお祈りいたします。

部署紹介コーナー

～放射線科～

今回は、患者さまのレントゲン撮影を担当している
パワフルな放射線科をご紹介します。



▼安藤 純技師

▼島 邦夫技師

▼武田 和彦主任

▼岩間 勝彦 技師

▼西山 茂 技師

▲関根 明技師長

▲石和田 直人 技師

▲佐々木 純平助手

▲吉永 一美 助手

▲宗島 千秋 技師

わが放射線科はスタッフわずか10名男性8名、女性2名で構成され、23歳から59歳までと高齢側に幅広い年齢層ではありますが、平均年齢が32歳であり院内では比較的ヤングな部署なのかもしれません。それ故に皆パワーが溢れて…と言いたいところなのですが、中年パワーに押されてか?若手が少しおとなしい(品がある)方が適切なかな)のも当部署の特長でもあります。しかし、おとなしくても秘めているモチベーションは若手、中年を問わず負けん気一杯です。

さらに、検査画像をフィルムとして現物保存すると同時にコンピューターによる電子保存として年間7万枚を超えるフィルムを5年間保存可能なコンピュータシステムも、まもなく実現します。こうした設備の充実化も万が一のフィルム紛失等に備えた安全対策なのです。

20年表彰者

5月20日にマザー牧場において永年勤続表彰が行われました。今回は20年表彰者の思いを掲載しています。次回10年表彰者の思いを紹介いたします。

放射線科 関根 明

この度の永年勤続表彰を拝受いたし恐縮しております。また、長きに渡り勤続させていただいたことに対し、本紙面をお借りして病院ならびに職員の皆様に感謝を申し上げる次第です。

私にとつての20年間はまさに、アツという間であり、特に後半10年間は時間の経過を殆ど体感せず過ぎ去ったと言つても過言ではない程であります。それだけ充実した日々を過ごさせていただいたのかも知れません。今後この充実感を継続し、次なる目標として勤続30年を目指す所存です。

外来 鳥飼 紀子

私の使用しているロッカーはなんと21年目。もうすぐ40代に入る私の人生の半分を共にしています。毎日このドアを開ける度に、色々な匂いを感じます。学生時代、レポートとの戦いに挑み、新人時代泣き笑いで採られました。今は子育てと仕事に追われる毎日。振り返れば充実した時間を過ごしてきました。色々な私を見ているパートナーのドアを開けながらこれからも成長していきたいと思つています。

手術室 河原 京美

私が当院に就職し、早いもので20年が経過しました。就職し、日々の業務に追われながら、もう一度勉強したい!という気持ちが湧き上がり、県立鶴舞看護学院を受験。午前は仕事、午後は学校と、ハードながらも学生生活をエンジョイし、あつという間の3年間でした。

今振り返ると、とても恵まれた環境を作つて頂き感謝しています。最後に、看護部長をはじめ、病院の皆様、友、家族が、いつも支えてくれたお陰だと感謝しています。ありがとうございました。

これを節目とし、初心に戻り患者さまに、安心して頂けるよう看護していきたいと思つています。

坂田クリニック 曾我百合香

私は結婚を機会に君津に移住してきました。「やっとな主婦業頑張るぞ」と、意気込み毎日料理の本を片手に主人の帰りを待つていました。しかし、1ヶ月でストレスになりその姿を見て主人が「玄々堂君津病院で勤務してみたら」と探して来てくれ、就職する事になりました。

一男一女の子宝に恵まれ、子育ても主人と二人三脚で行ってききました。この20年間いろいろな事が沢山ありましたが、それを一つ一つ乗り越えられたのも、職場の方や家族が、いつも支えてくれたおかげだと感謝しております。

クローズアップスタッフ

Produced by J.Andou

今回も、部署紹介コーナーから職員をクローズアップして紹介します。

Q・仕事をやる上で大切にしていることは何ですか?

石和田…患者さまの立場になり、思いやりのある行動ができるよう心掛けています。X線撮影などの検査をする際、より正確で診断価値のある写真を撮影する為、どうしても痛みが伴ってしまうこともあるのですが、患者さまにできるだけ苦痛が掛からないような方法で撮影できるよう常に配慮して検査に臨んでいます。

島…診断に有益な画像を撮り、患者さまにとって撮影のメリットが最大となるよう心掛けています。患者さまとのふれ合いは一瞬ですが、少しでも不安を解消して頂けるよう、会話を交わしたいと思っています。



の充実感を継続し、次なる目標として勤続30年を目指す所存です。

坂田クリニック 古江 洋子

主婦歴11年目にして、もう一度白衣が着たくなり「面接だけでもして下さい。」と電話を入れてからあつという間の20年。こんなに長く働けているのも病院の皆様と家族に助けられているおかげと思つています。これからは、初心を忘れて、積極的に参りますので、よろしくお祈り致します。



一男一女の子宝に恵まれ、子育ても主人と二人三脚で行ってききました。この20年間いろいろな事が沢山ありましたが、それを一つ一つ乗り越えられたのも、職場の方や家族が、いつも支えてくれたおかげだと感謝しております。

泌尿器科疾患

頻尿・尿失禁

とくに過活動膀胱について



津病院 泌尿器科部長 永島 篤
玄々 泌尿科

現在トピックスとして取り上げられている泌尿器科疾患について永島Drに解説していただきました。



やPSA(前立腺特異抗原)の血液検査を行うことが望ましいとされています。ほかにも間質性膀胱炎(おしっこがたまってくると膀胱部が痛くなるのが特徴)や心因性頻尿(日中だけ近いなども過活動膀胱ではありません)。

1日のおしっこの量は成人で1200~1500mlとされています。普段から水分をたくさん摂取しすぎると尿量が多すぎるとなります。夜間頻尿の方は、寝る前3時間は水分をあまり摂らない方がよいでしょう。脳梗塞の予防のために寝る直前に水をたくさん飲む方がいますが、かえって睡眠不足になって具合が悪くなることも多いのです。足がむくみややすい人は足を高くして30分くらい昼寝をすることがよくあります。

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

おしっこが近いとか、おしっこがまんできかないということに悩んでいる方はかなり多いのではないのでしょうか。近年、過活動膀胱という言葉がメディアで採り上げられることがあり、皆さんも見たり聞いたりしたことがあるかもしれません。これは、国際禁制学会が2002年に提唱した新しい概念であり、尿意切迫感(おしっこがまんできかないような感じ)を主症状とする症状症候群で、通常は頻尿(おしっこが近いこと)と夜間頻尿を伴うものです。切迫性尿失禁(がまんできかずに漏れてしまうこと)はあってもなくてもよいことになっています。膀胱が勝手に過剰な活動をするためにおこる症状と考えられます。従来、頻尿や

尿失禁の評価は、尿流動態検査という詳しい検査に重点がおかれていたのですが、それを改め、症状による評価を中心にしてしようとする考え方が変わってきたのです。病因は、脳血管障害パーキンソン病認知症脊髄損傷多発性硬化症頸椎症などの神経因性ものと、下部尿路閉塞(前立腺肥大症など)加齢骨盤底の脆弱化特発性(原因不明のもの)の非神経因性のものがあります。日本では800万人以上の患者がいるとされており、仕事や日常生活、スポーツ、旅行などにも支障をきたすため問題となっています。

頻尿は、1日8回以上と定められることもあります。10回以上であれば間違いなく頻尿と考えられます。また、夜間頻尿は、1回で

も起きれば夜間頻尿とする考え方もありますが、毎晩2回以上おしっこのために起きる場合は異常と考えるべきでしょう。

頻尿となる病気には過活動膀胱でないものもたくさんあります。たとえば膀胱癌や膀胱結石、膀胱炎などがそうです。検査で尿潜血や血尿、膿尿(ウミ)の成分である白血球が混じっているおしっこなどが認められれば、過活動膀胱以外のことを考える必要があります。また、男性の場合は前立腺癌を否定するため(肛門から指を入れて診察すること)

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

頻尿は、1日8回以上と定められることもあります。10回以上であれば間違いなく頻尿と考えられます。また、夜間頻尿は、1回で

も起きれば夜間頻尿とする考え方もありますが、毎晩2回以上おしっこのために起きる場合は異常と考えるべきでしょう。

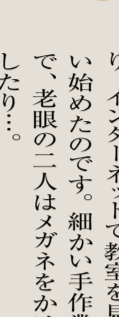
頻尿となる病気には過活動膀胱でないものもたくさんあります。たとえば膀胱癌や膀胱結石、膀胱炎などがそうです。検査で尿潜血や血尿、膿尿(ウミ)の成分である白血球が混じっているおしっこなどが認められれば、過活動膀胱以外のことを考える必要があります。また、男性の場合は前立腺癌を否定するため(肛門から指を入れて診察すること)

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

コーヒータウン



2階病棟 藤原 太子

手術室の柴田さんと楽しんでいる趣味があります。『シャドーボックス』ってご存じでしょうか。

同じ絵柄のプリントを7~8枚使って、部分的に切り抜いた絵を積み重ね、立体感、遠近感を表現する3Dアートです。

やり始めたきっかけは、田舎の姉が作っているのを見て、私もやりたいかな

り、インターネットで教室を見つけ、通信開始です。細かい手作業の連続で、老眼の二人はメガネをかけた外したり...

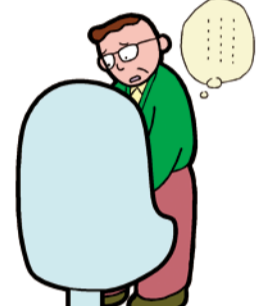
達も出品し、自己満足に浸りました。1日2時間の教室ですが、あつとい間に時間が過ぎていきます。とっても楽しい「ひととき」です。教室が終わってからのランチ、コーヒータウンも、またプラスの楽しみとなっています。

このように楽しいと思える趣味を見つけ、楽しみを共にできる友がいて、「あつ、私は何て幸せ!」写真では平面にしか写らないので立体感を伝えられないのが残念です。



シャドーボックス

4月下旬には、千葉そごうで作品展覧会があり、未熟な私



頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

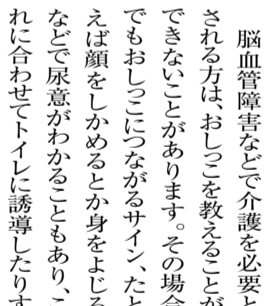
頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。

H18年度 院外研究発表および講演内容

- 臨床工学科**
 - 平野 聖浩 ●各種洗浄液の低濃度における生菌発生抑制効果の検討:第16回日本臨床工学会・第51回日本透析医学会 ●クオリティモニターを用いた超音波カブラ洗浄の検討:第34回千葉県透析研究会
 - 高橋 初 ●除細動器保守点検に用いるチェッカの製作:第16回日本臨床工学会・第51回日本透析医学会
 - 三浦 英貴 ●ストレス測定器COCORO Meterの透析患者における評価:第14回千葉県臨床工学技士会勉強会・第34回千葉県透析研究会
 - 渡辺 仙志 ●安全の取り組み:安全対策委員会主催講演会
 - 山口 裕伸 ●モイストタイプポリスルフォン膜(トレライトCS-U)の性能評価:第34回千葉県透析研究会
 - 山口 曜 ●PES-210Gβの性能評価:第34回千葉県透析研究会
 - 川上 崇志 ●日本光電社製神経伝導検査装置BRV-0100(プレビオ)の使用経験:第34回千葉県透析研究会
 - 藤平 雅紀 ●東レ社製血流モニターの臨床評価:第34回千葉県透析研究会
- 臨床検査科**
 - 上野 芳人 ●日常検査で遭遇する検査異常値例について:君津・木更津・富津地区臨床検査研究会 ●RLPコレステロールを中心とした脂質代謝:第4回千葉県臨床化学検査研究班研修会
 - 淵上 孝一 ●RLPコレステロール試薬(メタボリドRemL-C)の使用経験:第38回日本臨床検査自動化学会 ●RLPコレステロールの使用経験:第4回千葉県臨床化学検査研究班研修会 ●臨床検査サーベイ、溶血検体における各施設の対応:第38回 千葉県臨床検査学会・君津・木更津・富津地区臨床検査研究会
 - 桐谷 陽子 ●糖尿病における動脈硬化危険因子について:第38回 千葉県臨床検査学会
- 放射線科**
 - 関根 明 ●Necessity of third person evaluation for Japanese medical care -From Radiologysection-:アジア放射線学会 ●被ばく線量測定法:(社)日本放射線技師会 ●法定放射線測定における全国の現状について:(社)宮城県放射線技師会
- 薬局**
 - 杉村 昭文 ●後発医薬品の発行医療機関での対応とお願い:君津木更津薬剤師会 ●病院における安全対策:君津木更津薬剤師会
 - 住沢 直子 ●薬の基礎知識について:富津公民館 ●薬について:周西公民館
- 栄養科**
 - 池座 裕美 ●栄養管理実施加算の現状と問題点:千葉県病院栄養士協議会 臨床栄養研修会
 - 武内 美樹 ●高カルシウム血症をきたした長期経管栄養患者の1例:千葉県病院栄養士協議会 研究発表会・第7回千葉県栄養改善学会
 - 西井 大輔 ●腎臓病と食事について:富津市社会福祉協議会 ●透析食の基本:君津市保健福祉センター
- 医局**
 - 高田 眞行 ●いい医者いい患者:君津中央図書館
 - 永島 嘉嗣 ●がん治療の最前線から~胃癌・大腸癌~:君津中央図書館
 - 荻野 良郎 ●メタボリックシンドローム:坂田クリニック研修室
 - 日並 淳介 ●透析患者における膵内分泌腫瘍:OVTA
- 看護部**
 - 岡崎 陽子 ●女性患者の男性看護助手に対する印象と頼みにくい援助内容:第37回日本看護学会 看護総合
 - 石井 京子 ●糖尿病透析患者への新規シートを用いたフットチェック一致率の変化 評価基準を統一するための試み:第37回日本看護学会 看護総合
 - 谷 美行 ●エンゼルケアへの家族参加に関する看護師の意識調査:第37回日本看護学会 看護総合
 - 萩原 桂 ●エンゼルケアに参加した遺族の思い:第37回日本看護学会 成人看護II
 - 林 美恵子 ●疾病論(腎・人工透析):千葉県立鶴舞看護専門学校
 - 榎本 洋子 ●透析看護:木更津看護師高等専修学校



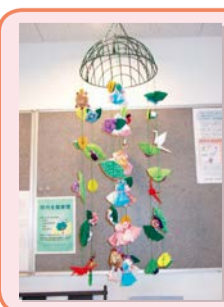
外出時にトイレの場所がわからなくとも有効です。



頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。



頻尿や尿失禁で困っている方は、かかりつけ医と相談し、検査などの検査を受け、悪性疾患が疑われたり、治療によってもよくならない場合には泌尿器科を受診してください。



▲手枕:透析をしている患者さまの手の固定に役立っています。▲6月のつるし飾りに癒しをいただきました。



▲ベッド柵カバー:身体の拘縮が強く膝が曲がっている患者さまの体位交換に役立っています。

今回はボランティア活動ニュース 最近作っていただいた作品を紹介いたします。

人事往来

【異動】

(4月2日～7月1日まで)

()内は旧所属部署

- 4階病棟 齋藤 絵里奈(2階病棟)
3A病棟 永塚 藍(2階病棟)
3B病棟 立川 京子(3A病棟)
2階病棟 村上 真紀子(看護部長室)
外来 鳥飼 紀子(3A病棟)
透析室 宮森 美樹(2階病棟)
透析室 二本柳 亜矢(看護部長室)
木更津クリニック 白井 史子(透析室)
坂田クリニック 江川 絢子(看護部長室)
坂田クリニック 田中 康代(看護部長室)
坂田クリニック事務 平野 直美(医事課)
坂田クリニック事務 安室 登喜乃(医事課)
訪問看護ステーション 生稻 美穂(看護部長室)

【新入職員】

(4月2日～7月1日まで)

- 医師 古賀 祐季子(5/1～)
看護師 鳥海 明子(5/1～)
看護師 小林 洋子(6/11～)
看護師 水野 由美子(7/1～)
看護師 石田 恵美(7/1～)
クラーク 久保田 睦美(6/25～)
ナースエイド 中島 由祐子(4/9～)
臨床検査技師 五十嵐 理恵(4/9～)
放射線科助手 佐々木 純平(5/1～)
調理員 滝口 陽子(5/21～)
医事課 田鍋 悠妃(4/16～)
医事課 秋元 里絵(4/16～)
総務課 高山 裕孝(7/1～)
木更津クリニック事務 松井 圭子(4/9～)

新人職員 歓迎ハイキング

5月20日(日)、マザー牧場にて、恒例の永年勤続表彰・新入職員歓迎ハイキングが行われた。当日は天候に恵まれ、職員・家族総勢305名が参加し、新緑の自然を満喫した。お昼のジンギスカンでは、普段交流の少ない他部署の方々とも親睦を深められ、楽しいひとときをすごした。



今年、新入職員として初めてマザー牧場へのハイキングに参加させて頂きました。本日は心配されていた天候も気持ち良い程の快晴となり、絶好のハイキング日和になりました。
東京湾観音を出てから、私は佐貫駅からマザー牧場まで徒歩で向かうコースでした。部署の先輩、同期のみなさんと約2時間かけて山を登り、途中緑の沢山ある景色に感動したり、傾斜のある山道を歩いて汗をかきながら一生懸命ゴールを目指しました。
無事マザー牧場へ到着してからは牛乳の味がたっぷりのソフトクリームを食べながら普段見る事のない風景を堪能しました。
私のお勧めは、永年勤続表彰と岡崎副看護部長も一緒に座られたのでお二人より色々なお話を聞いたりしてとても良いひとときを過ごさせて頂きました。どうもありがとうございました。

マザー牧場ハイキングに参加して 藤本 夏美

新人歓迎会に参加して 栗田 芳毅

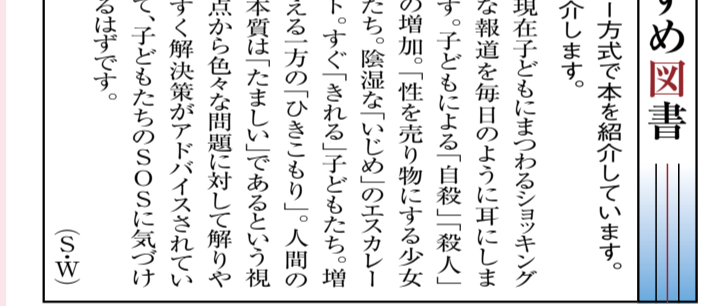
玄々堂君津病院に入職してから2ヶ月が経ち、初めての行事がマザー牧場へのハイキングでした。当日は快晴で良いハイキング日和でした。自分は佐貫駅からマザー牧場までのコースを歩きました。今までマザー牧場までは車で行ったことしかなかったので、歩く前までは本当に歩ききれぬか心配でした。しかし歩きながら同部署の同期である、福坂君田鍋さん秋元さんと景色を見ながらお互いの

趣味や今までのようなところで働いてきたかなど色々な話をしていたらなんとマザー牧場に着くことができました。疲れた後のソフトクリームやジンギスカンピールは最高でした。永年勤続者の表彰を見ていたら自分もこれから頑張りたいなと思いました。
他部署の方々とも話すことができ、1日が長いようで短かく感じましたが自分にとってとても良い経験させて頂きました。
また来年も、今年と同じコースを歩かされるように1年間頑張りた



サプタイトルは「びわ」
初夏の果物として見逃せないのがびわです。旬が短く、うっかりしていると食べ損ねてしまうほどです。まさに今が旬のこの時期おいしくいただきましょう。
おいしいびわの選び方として、次のようなことが言われております。①実には弾力があり、鮮やかなだいたい色のもの。②実の表面に白い毛が生えているもの。③左右対称にふくらんでいる。皮につやのあるもの。せつかくです。すから、甘くておいしい物をいただきます。
また、びわにはビタミンB群、ビタミンC、カロテン等が含まれています。カロテンは、目の粘膜を正常に保つとされています。夏の訪れ前に目やお肌の健康にいかがですか？

私のおすすめ図書
このコーナーは職員によるバトンリレー方式で本を紹介しています。今回は、『子どもが危ない!』の本を紹介しています。
現在子育て真っ最中のお母さん、いや、子供の未来を憂えるすべての大人の方に是非、読んでいただきたい一冊を紹介いたします。『オーラの泉』などテレビで活躍中のスピリチュアルカウンセラー、江原啓之さん著書『子どもが危ない!』です。
一方の『ひきこもり』。人間の性質は「たましい」であるという視点から色々な問題に対して解りやすく解決策がアドバイスされていて、子どもたちのSOSに気づけるはず。
(SW)



編集後記
紫外線のこわいお年頃? (とつく)
今回も頑張って記事書きました。(K太)
4月に、新聞委員になって初めてのヒューマンが発行され、小さな感動を味わった。(東方神起)
日焼けで顔が痛いですが... (リテイ)
患者さま、スタッフを激励の目で支えていける自分になりたい。(S.C)
和していくことが大きな力になると実感。(J.J)
さあ夏、髪の毛切ってさっぱりします。(ちー)
今年の夏はどこに行こう... (ぶう太)
最近フットキャンプ流行ってますね! 流行に乗ってみようかな? (E.L)
今年はずいぶん浴衣を着ようかな。(捨之介)
最近毎日歩いているんです。新しい発見があります。(shin)
枇杷は滋養強壮に効果あり、大いに食べましょう。(山口)

本院は一人一人の患者さまを大切に、良質で安心なぬくもりのある医療を提供いたします
玄々堂君津病院の理念
方針【良質な医療を患者さまに】
1. 総合診療(患者さまを全体として見る)を中心に、専門診療(高度な専門的医学知識・技術)を取り入れて良質な医療を提供いたします
2. 多様な医療を準備し、一人ひとりの患者さまのニーズに応じた医療を提供いたします
3. 職員はおのその専門分野の知識と技術の向上に努めます
【安心なぬくもりのある医療を患者さまに】
4. 医の倫理を守り、患者さまの権利を尊重いたします
5. インフォームドコンセント(説明と同意)を徹底させ、信頼と協力に基づいた医療を行います
6. 安全対策・感染対策を十分にを行い、アメニティにも配慮いたします
7. 病院・クリニック・訪問看護ステーション・ヘルパーステーションが一体となって健診・医療・看護・介護サービスに取り組みます
平成17年1月1日

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for various medical departments (一般外来, 専門外来, 医師別外来) listing attending physicians.

※1 高田名譽院長の外来は9日・23日8:45～となります。
※2 常勤医師の外来は2日・30日8:30～11:00迄となります。
※3 荻野副院長の外来は8:30～10:00迄となります。
※4 永高院長の外来は8:30～10:30迄となります。
※5 中津医師:12日は休診となります。
※6 竹田医師:7日・21日 長崎医師:14日・28日
※7 荻野副院長21日の午後は休診となります。 柴田医師 原野外来は21日(午前のみ)、午後は休診となります。
※8 東京女子医大医師:6日は休診となります。
※9 物療内科(午前・午後) 7/7高橋医師・松井医師 7/14宇野医師・岡崎医師 7/21高橋医師・佐藤医師 7/28松井医師・岡崎医師
※10 永高副院長:泌尿器科外来午前7日・21日
※11 橋本医師:14日(午前) 小林医師:28日(午前)
※12 茅野医師:3日午前・午後と31日午前・午後(休診)となります。
※13 柴田医師:20日の午後は休診となります。